

□ 要請番号 (JL06625B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	D235 自動車整備		個別	交替 2代目	2年	・ 2026/1 ・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・高等教育・職業教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ブーサ職業訓練センター

3) 任地 (ゴール県ブーサ) JICA事務所の所在地 (コロンボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、地域の若者が就職に必要な技術を習得することを目的に2016年に設立された職業訓練センターである。自動車整備、塗装等のコースを開講しており、訓練生約90名と講師5名が在籍、年間予算は約150万円。自動車整備コースでは、国家資格(NVQ Level4)の取得が可能であり、卒業生は自動車のディーラーや整備会社へ就職している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

自動車整備コースは、メカニックとして身に着けるべき基礎知識の習得が可能となるよう、実習主体のカリキュラムを取り入れている。(座学2割:実習8割を目指しているが2025年8月現在は実習が6割程度)。最近では、スリランカ国内で急増しているハイブリッド車関連の授業も導入されているが、十分な故障診断技術・知識を持つ講師がいないため、実習内容が限定的になる等の課題を抱えている。この様な背景から、実習の充実化および同僚教員へのハイブリッド車関連知識や整備方法の共有、加えて授業のサポートを強く希望しており、今回の要請に至った。2025年8月現在、自動車整備の隊員が1名活動中である(2026年2月まで)。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚講師と協力して、自動車整備コースの実習指導を行う。
 - 同僚講師へ自身が持つハイブリッド車の故障診断・整備に関する技術を共有する。
 - ハイブリッド車以外の整備コースへの指導助言、コース内容の見直し等へのアドバイスを行う。
 - 可能な範囲で5Sを導入し、実習場および倉庫等の環境整備(整理整頓)を同僚・訓練生と共にを行う。
- *エンジン教材ではガソリンエンジンはキャブレターでポイント式、ディーゼルエンジンは分配型インジェクションポンプが使用されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習用ハイブリッド車(トヨタプリウス)1台、ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、カットモデル(クラッチ、マニュアルトランスミッション、ディファレンシャル、ブレーキ等)、工具一式

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(男性、40代)
同僚4名(20-50代)
うち自動車整備科の講師は2名(男性、30代と50代)

主な指導対象者: 自動整備コース 40名(16歳～25歳)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
シンハラ語	シンハラ語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士以上）	[学歴]：（専門学校卒） 備考：同僚の教育水準と合わせるため
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）3年以上 備考：ハイブリット車の指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（22～34℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水源]：（安定）

【特記事項】

- ・ 住居はホームステイになる可能性が高い。
- ・ [JICA海外協力隊の世界日記](#)
- ・ [配属先職業訓練校の場所](#)

【類似職種】